

給食だより 1月

平成24年1月
熊本市立城西小学校
文責：永岡

あけましておめでとうございます。
今年度最後の学期、3学期が始まりました。

『1年の計は元旦にあり』という言葉があります。

元旦にその年の色々な計画を立て、それに向かって1年を過ごそうという意味です。

1年の目標を持つのは、大変意義のあることです。今年1年を健康に過ごすための目標を、立ててみてはいかがでしょうか？



給食記念週間が始まります♪

1月24日(火)～30日(月)の1週間は給食記念週間です。

これは、学校給食の長い歴史を振り返り、給食に携わる人たちの苦労や努力を知り、感謝の気持ちをもって給食をいただき、学校給食の意義や役割について理解と関心を深める1週間です。この機会に学校給食について見直してみましょう。

学校給食が始まって、今年で123年

明治22年(1889年)、山形県にある小学校で、弁当を持ってくることのできない貧しい子どもたちのためにおにぎりなどを出したことが始まりです。

第二次世界大戦で、食べるものが少なくなり、一時中断されていましたが、戦後、外国からの援助物資をもとに再開されました。

その後、外国からの援助がなくなり、給食は中止の危機を迎えましたが、全国で保護者などを中心に継続の要望が高まったため、学校給食の法制化が進み、昭和29年【学校給食法】が制定されました。法制化から55年たった平成21年に一部改正、施行されました。



現在では、食料不足だった戦後から大きく変わり、たくさんの食べものから何が自分に必要かを選び、考えて食べることが求められています。

このような背景から、学校給食も“学校で食べるお昼ごはん”としてだけでなく、“生きた教材”として、子どもたちのあらゆる学び～食生活のお手本になるように考えられています。



子どもたちの「食育」は学校給食だけでなく、家庭における毎日の食事が大切です。家庭で望ましい食事のあり方について考えてみましょう。

学校給食の歴史を振り返ってみましょう！

戦前

戦後

平成
現在



明治22年
日本で最初の給食
おむすび
塩かけ
つけもの



昭和20年代
トマトシチュー
脱脂粉乳



昭和30年代
コッペパン
脱脂粉乳
クジラの竜田揚げ
千切りキャベツ
ジャム



昭和40年代
ソフトつけめん
牛乳
甘酢あえ
みかん
チーズ



昭和50年代
カレーライス
牛乳
サラダ
バナナ

バイキング給食・セレクト給食など多彩な学校給食が実施されています

平成23年度 献立コンクール入賞作

2学期まで毎月の献立の中に、献立コンクール入賞作品を取り入れてきました。今回の給食記念週間では、献立コンクールで、最優秀賞と優秀賞を受賞した献立を給食で実施します。

最優秀賞

▼日吉東小学校 6年 柴田 漱士さん
肥後MIXベジタブル

熊本市産の野菜をたくさん使って、小さい子どもからおじいちゃん、おばあちゃんたちまで食べやすいみそ味にしています。トロツとしたなすとれんこん、ピーマンのシャキシャキした食感も楽しめるよう工夫されています。

▼健軍東小学校 5年 光吉 佑莉加さん
熊本まるごとミートパスタ
熊本市の特産物である、玉ねぎ・トマト・なす・大豆を使っています。



▼健軍東小学校 6年 澤 美裕さん
「まごはやさしい」たきこみごはん
『まごはやさしい(大豆、ごま、ひじき、わかめ)やさしい、さかな、しいたけ、いも』の入った献立です。

優秀賞

▼豊田小学校 5年

赤星 翔さん
鉄骨カレー

みんなが大好きなカレーにレバーを入れることで、レバーのにおいや味があまり気になりません。

▼健軍東小学校 6年

一岡 愛香さん

熊本なすとトマトのおいし〜いソース
なすとトマトのおいしいソースは魚や肉と相性ばつぐんです。

チキンカツ・しろみざかなのフライ
どちらかをえらんでソースをかけて食べます。